

第4回日本Moodle Moot(ムードル研究集会)

開催日 : 2012年2月22日(水)~23日(木)

開催地 : 三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577



主催: 日本ムードル協会 (MAJ)
共催: 三重大学高等教育創造開発センター
実行委員長: 奥村晴彦 教授

発表受け付け

2011年8月1日(月)~10月31日(月)

発表者の参加申込締切日

2012年1月9日(月)

非発表者のMoot参加申込締切日

2012年2月6日(月)

オープンソースの学習管理システムであるムードルに関するプレゼンテーションや招待講演、初心者・中上級者のためのワークショップ、エキスパートのクリニック、パネルディスカッションなど盛りだくさんの二日間です。是非ご参加下さい。詳しくは Web で。

<http://moodlejapan.org>

【研究集会 参加費】

- ・個人会員 1万円
- ・団体会員 5万円 (代表5名参加可)
- ・賛助会員 5万円 (代表2名参加可, 展示スペース提供)

【スケジュール】

2/22日(水) 8:30 ~ 9:30 受付
9:30 ~ 11:50 研究発表, ワークショップ
13:00 ~ 13:50 基調講演(マイケル・デ・ラート氏)
14:00 ~ 16:30 研究発表, ワークショップ

2/23日(木) 8:30 ~ 9:00 受付
9:00 ~ 10:30 研究発表, ワークショップ
10:40 ~ 11:40 基調講演(喜多敏博先生)
12:45 ~ 15:05 研究発表, ワークショップ
15:15 ~ 15:55 基調講演(マーティン・ドウギアマス氏: バーチャル講演)
15:55 ~ 16:30 パネルディスカッション, 閉会式

基調講演



喜多敏博先生(熊本大学)

「ムードルで遊ぶ - プラグインとカスタマイズ」

Moodleは簡単にインストールでき、コードを改変して簡単にカスタマイズすることができるシステムです。データベースのテーブル構造や、モジュール化されたコードも明解です。Moodleを使って「ここをちょっとこういう風に変えたい」と思ったら、PHPプログラミングの心得さえあれば、エディタを使ってちよこつとコードを変えるだけで実現できてしまいます。「こういう新しい機能が欲しい」と思ったら、世界の色々な人が公開しているプラグインを検索して探し出してインストールしてもいいし、少し時間をかければたいそうな開発環境などは不要で自分でプラグインを作ることも可能です。私も、このような遊び甲斐のあるMoodleを使って、大学の授業におけるニーズに応えるために、自分の研究のネタとしての意味も兼ねて色々やってきましたので、その具体例をデモンストレーションを交えて紹介します。



マイケル・デ・ラート Moodleの開発管理者

「ムードル本部とどう関わりを持つか -- あなたもプロジェクトに参加できます」

ムードルは一人の創始者の作品として始まりましたが、今では22人の専属開発者、200人のボランティア開発者、そして開発には関わらないものの様々な形でムードルを支えるコミュニティとともに成長を続けています。オープンソースのプロジェクトですので、ムードル開発は多くの人たちの適当な思いつきで左右されていると思われる方もいらっしゃるようですが、実はその開発プロセスは大変洗練されたものになってきています。私はこのプレゼンテーションで難しい言葉を使わずに、ムードルが如何に維持され、日々改良されているかを説明いたします。更に開発などに無縁な方々も、どうしたらこのプロセスに参加できるかについてもお話しします。



マーティン・ドウギアマス(バーチャル講演) Moodleの開発主任

「Moodle3.0へのロードマップ」

教育やテクノロジーの変化に応じるため、ムードルの新しい方向性と、これから数年のムードル開発の道筋についてお話しします。